



「第1回平井小学校支援協議会」を開催しました！

梅雨に入り、木々の緑が濃さを増しているようです。皆さん、お元気でしょうか？

5月21日（金）、地域の皆様、保護者の皆様の感染対策のおかげで、今年度はじめての「学校支援協議会」を開催することができました。ご協力に感謝申し上げます。

「学校支援協議会」は、地域全体で子供たちを守り育てるために協働する「コミュニティ・スクール」の中核をなす組織です。今回は、学校の経営方針をご説明するとともに、地域の方々から子供たちへの期待や登下校に関する課題などをうかがうことができ、大変有意義でした。

その内容をお知らせします。地域の方々の願いや思いを共有し、子供たちへの働きかけについて、ご協力をいただければ幸いに存じます。



平井の子供たちを、こんな子供に育てたい！

- 「ありがとう」が言える子供
- イヤなことは「イヤ」と言える子供
- 元気な子供
- みんなに優しくできる子供
- 先生を尊敬する子供
- 登校時に友達と会ったら「おはよう！」と声をかけ合う子供
- 困っている子や悩んでいる友達に「どうしたの？」と声をかけられる子供
- 自分が間違ったときに、「ごめんなさい」と言える子供
- 人から助けってもらったり優しくしてもらったりした時に「ありがとう」が言える子供
- 同一学年だけでなく、上級生や下級生とも仲良くできる子供
- 基本的には真面目な子供たちが多く、その気持ちをしっかりと持ったままの子供たちでいてほしい

←共感力！ ↓挑戦力！

- 学習で分からない時、自分で調べたりなぜだろうと考えたりすることができる子供
- 自分の興味があることに取り組める子供
- ゲームやテレビなどより外で遊ぶ子供
- 行事などに積極的に参加する子供
- 交通ルールを守る子供

↓地域愛

- 地域の行事に積極的に参加できる子供
- 社会人になっても地域に残り、子育てができるようにしたい
- 自分の地域が、他の校区や地域に比べて「一番」と思えるようになってほしい

あいさつは、以前よりは、よくなっていますよ。地域の高齢者にもっとあいさつをしたり交流を深めたりしたいですね。



登下校時に、横断歩道などで車が止まってくれた時に、ふりかえって「ありがとうございます」と一礼できるようになってほしいですね。運転手さんが、どんな気持ちで道をゆずってくれているか、考えて。

昔は、登校班の中で、高学年の子供が低学年の子供に教えてあげるという習慣だったみたいですよ。



体調不良等で、朝から車で送られることがあると思いますが、「見守り隊」の方は、子供たち全員が通るまで待っていてくださっています。「見守り隊」の方の前を通るとき、一言「送っていきます！」と言っただけであれば有り難いのになあ、というお話をいただきました。その際、「いつもありがとうございます！」と、付け加えていただければ、うれしいです。子供たちも見習ってくれると思います。

